

## もの言う牧師のエッセー 第99話

## 「ウルトラマン」

「♪光の国からぼーくらのために♪、来ーたぞ～我ら～の♪ウルトラマン♪」。特撮で有名な円谷プロが設立 50 周年を迎えた今年、奇しくもウルトラマン・シリーズが、最も多く派生シリーズが作られた番組としてギネス世界記録に認定され、東京都内の映画館で9月12日、認定証授与式が行われた。

円谷プロの創設者である円谷英二は実にユニークな人物だ。邦画初の全米公開作品ゴジラのヒットなどですでに“特撮の神様”であったにもかかわらず、スタジオでは若いスタッフの仕事ぶりを後ろからニヤニヤと見てるような好々爺だった。大変な酒豪で、編集作業をしながら深夜まで飲んでいて、三味線をこよなく愛し仕事場でもよく弾いていた。機械好きの彼は手先が器用で当時流行の洗濯機を分解して組み立てたり、スタッフの時計の修理をして喜んでいたという。

実は彼はクリスチャンである。従ってシリーズの中で彼が関係したウルトラ Q からセブンまでの三作の中には、聖書人物や地名に関係した怪獣名が多く登場する。怪獣アロンやゴモラ、ペテロ、カナン星人、サロメ星人、怪鳥リトラなどがそれだ。しかし何と言っても極めつけはウルトラマン自身が「光の国から来た」ことである。

「この方に命があった。この命は人の光であった。光は闇の中に輝いている。」

闇はこれに打ち勝たなかった。全ての人を照らすその誠の光が世に来ようとしていた。」

ヨハネの福音書 1章 4,5,9 節

と聖書にある様に、“光源”であるキリストは、この世の闇の中にいる人々を救うためにやって来られた。ウルトラマンも普段は人として生活し、人を助け、3分間という限られた中で戦ったが、キリストも神でありながら人として限られた中で生き、罪の闇の中に沈む人類を自らの命を投げ出し、光を当て救ったのである。そして十字架での死後、復活した光の国へ帰った。それだけではない。今も聖霊を通して我らの心に希望の光を照らしてくださる。

2013-9-24

